

Profile 池田まき
いのち・暮らし・平和を守る
～サトルのチカラ～

- 1972年5月24日東京生まれ ●1997年から14年間東京都板橋区福祉事務所勤務 ●2011年北海道へ移住。フリー・ソーシャルワーカーとして災害福祉・権利擁護などで活動 ●2015年北海道大学公共政策大学院修了(公共政策学修士・専門職) ●2017年第48回衆議院比例区で当選し、「児童虐待防止」「産後ケアセンターの設置」等に尽力 ●2021年衆議院選は次点で惜敗(興味) 温泉・山菜と、約り、パレーボール(好物) 北海道の山菜・魚介類、道産米、チーズ

池田まきオフィシャルWEBサイト
https://ikemaki.jp/
池田まき 検索

比例区は
立憲民主党

あなたを護る。「いのち」と「暮らし」をまもる

池田まき元衆議院議員
1期4年の国会活動

池田まき 5つの政策

- 1 暮らしをまもる。すべての人に安心を約束する普遍的社会保障。消費税率を引き下げ物価高から暮らしをまもる
- 2 雇用をまもる。中小企業を支援し持続的成長を促す。非正規・フリーランスの待遇改善と権利確保
- 3 食・環境・命をまもる。農業を基幹産業として所得補償(直接支払制度)の構築。危機管理・防災・防犯を設備し国民の命をまもる
- 4 地方をまもる。地方への権限・財源・議院と公共サービスの拡充。鉄道、バスなど地域公共交通を維持
- 5 平和をまもる。憲法一原則をまもり専守防衛・平和と外交を推進。金権政治を終わらせる徹底的な政治改革

「5つも総合基本法など14本の議員立法を提出!!」
池田まきは2017年から2022年までの1期4年間、衆議院議員を務めました。誰よりも大切にしたい「いのち」の政治理想を貫くため、野党の新人1期生ながら福祉の現場20年のキャリアをいかし「5つも」生活向上法案は「産後ケアセンター」設置法案。保育や介護の人材育成法案など、計14本の法案を議員立法として提出し、5回登壇、委員会質疑は計51回に及びました。

「古い政治」との決別は北海道5区から

今の日本は格差と貧困が拡大し、分断と排除がまかり通っています。社会の多様性が脅かされ、国民の大切な情報が隠蔽され、一握りの人々による傲慢な政治が横行しています。これからの政治は、不信だらけの政治から「信頼できる政治」へ、「危機に機能する行政」へ、「いのち」と「暮らし」をまもる政治へ、「誰ひとり置いてきぼりにしない」社会へ。私、池田まきは、政治が本来の役割を取り戻すその日まで、全身全霊で取り組み覚悟です。

立憲民主党公認

池田まき

社会福祉士
精神保健福祉士
介護福祉士
防災士

自民党政治を追いつめる役割発揮!

石破派も真金——連続する「しんぶん赤旗」のスクープ

真金政治を暴いた力、首相3代を退陣に
日本共産党「しんぶん赤旗」が、自民党の「大政治犯罪を明らかにした」と評価を受けました。桜を見る会、達達会議入事件に続き、首相3代続いで退陣させる先頭。10/6には石破派「真金疑念」も報じました。

市民が支える政党だから変えられます
日本共産党は、野党の中でも企業献金も政党助成金も受け取らず、「しんぶん赤旗」購読料等で単の根の市民が支える唯一の政党です。だから、自民党政治と正面から対決し、変える力があります。

巨大開発より暮らし優先
最賃ただちに1500円、消費税まずは5%

- 大企業の内部留保に課税し、中小企業支援で大幅増上げ。
- 7時間労働へ時短し、人間らしい生活を。
- 消費税はゼロをめざします5%へ、「増える年金」に。
- 重すぎる学費はゼロを目指します半額に。社会保険拡充を。

大企業優先から食と農を支える経済へ

- 軍事産業への供給や環境破壊が心配なラピダスへ約1兆円の血税投入は異常。北広島ボールパーク新駅の市民負担も問題です。
- 原発ゼロ、核ごみNO。再生エネが各自の大型開発はストップへ。
- 農業は価格保障・所得補償で欧米なみに支援、食料自給率50%へ。

日本共産党

鈴木りゅうじ

「戦争と貧困をなくしたい」が私の原点です。憲法を壊して大軍拡につき進む危険な日本ではないのか。平和に安心して働き暮らせるように、憲法の理想を社会の現実にするため、みなさんと力をあわせて頑張ります。

9条いかにす平和外交へ

- 周辺国と対立を深める軍事同盟の強化、軍事費倍増などは、むしろ武力衝突のリスクを高めます。自衛隊員の命を守るために戦争を防ぐ仕組みが必要で、軍拡のきっかけとなった違憲の安保法制は廃止し、アセアンと協力して米中を包む平和協力の枠組みをつくります。

ジェンダー平等・アイヌ民族の人権回復

- 男女の賃金格差やハラメント・性暴力をなくし、選択的夫婦別姓、同性婚、クオータ制の導入で、ジェンダー平等を目指します。
- アイヌ民族へ国の責任で謝罪と権利回復、差別なく生活支援を。

和田よしあきのプロフィール

昭和46年10月10日生まれ(53歳)。
インターナショナルスクール・オブ・パリ、早稲田大学商学部を卒業、三菱商事株式会社に20年間勤務(ペルー1年、インドに5年駐在)、自民党北海道第五選挙区支部長に就任。平成28年4月衆議院北海道第五区補選で初当選。平成29年10月2日再当選。令和2年9月内閣府大臣政務官。令和3年10月第49回衆議院総選挙3期目当選。令和4年8月内閣府副大臣。令和5年10月防衛大臣補佐官を歴任

趣味：テニス、ラグビー、ダイビング
●キックボクシング・旅行・料理
【資格】6級空手
【家族】妻一恵子(同村信孝次女)と長女の3人(好きな言葉) 至誠天に通ず・失敗は成功の糧(好きな食べ物) カツカレー・ザンギ・た焼き・コロッケ

自民党 比例代表も **自民党へ**

愛する北海道を前へ。

寄り添い、守り、切り拓く。政策⑤本柱

- 国民のいのちを守り抜く
 - 真に国家国民を守る防衛体制構築
 - 自衛隊員の処遇の抜本改善 他
- 子ども・家族を守り抜く
 - 子ども子育て支援の更なる拡充
 - 夫婦が共に夢を実現、「共働き・共育て」促進 他
- 生活・雇用・経済を守り抜く
 - 石油・灯油支援継続、電気代引下げ
 - 北海道の農林水産業を守る
 - 千歳川流域の治水対策等、災害対策強化 他
- 地域の未来を切り拓く
 - ラピダスを中核とした北海道バレー構想の実現
 - 関連産業を集積して雇用増加、所得向上、産学連携による人材育成
 - 新千歳空港、道央圏連絡道路、ボールパーク新駅等のインフラ強化

私の決意

この度は収支報告書不記載で多大なるご心配をおかけしてしまい、心よりお詫言ひ申し上げます。地元北海道で多くの皆さまにご指導もいただきました。ありがとうございました。猛省を胸に、皆さまのいのちと暮らしに寄り添い、さまざまな課題に真摯に向き合い、日本と北海道の明日を切り拓きます。和田よしあきに一度、皆さまの想いを託してください。

自民党公認

和田よしあき
53歳

札幌市白石区内の一部の地域で衆議院小選挙区の選挙区が変わります。

衆議院小選挙区選出議員選挙の選挙区間における一票の格差を是正するため、衆議院小選挙区の区域が見直されました。これにより今回の衆議院議員総選挙から札幌市白石区内の右に記載する地域については、北海道第3区から北海道第5区へ衆議院小選挙区の選挙区が変更となります。

※札幌市白石区内にお住まいの方で、右に記載する地域以外にお住まいの方については、これまでの選挙区(北海道第3区)から変更はございません。

衆議院小選挙区の選挙区が変わる地域(札幌市白石区分)
※次の地域の衆議院小選挙区は 北海道第3区 から 北海道第5区 になります。

◆川北 1条 1丁目 ~ 3丁目	◆川北 2条 1丁目 ~ 3丁目
◆川北 3条 1丁目 ~ 3丁目	◆川北 4条 2丁目 3番
◆川北 4条 3丁目	
◆川下 1条 4丁目 ~ 9丁目	◆川下 2条 4丁目 ~ 8丁目
◆川下 3条 3丁目 ~ 7丁目	◆川下 4条 1丁目 ~ 6丁目
◆川下 5条 1丁目 ~ 4丁目	◆川下 (番地)
◆北郷 1条 11丁目 ~ 14丁目	◆北郷 2条 11丁目 ~ 14丁目
◆北郷 3条 11丁目 ~ 14丁目	◆北郷 4条 11丁目 ~ 14丁目

※この選挙公報は、候補者から提出のあった掲載文を原文のまま印刷したものです。

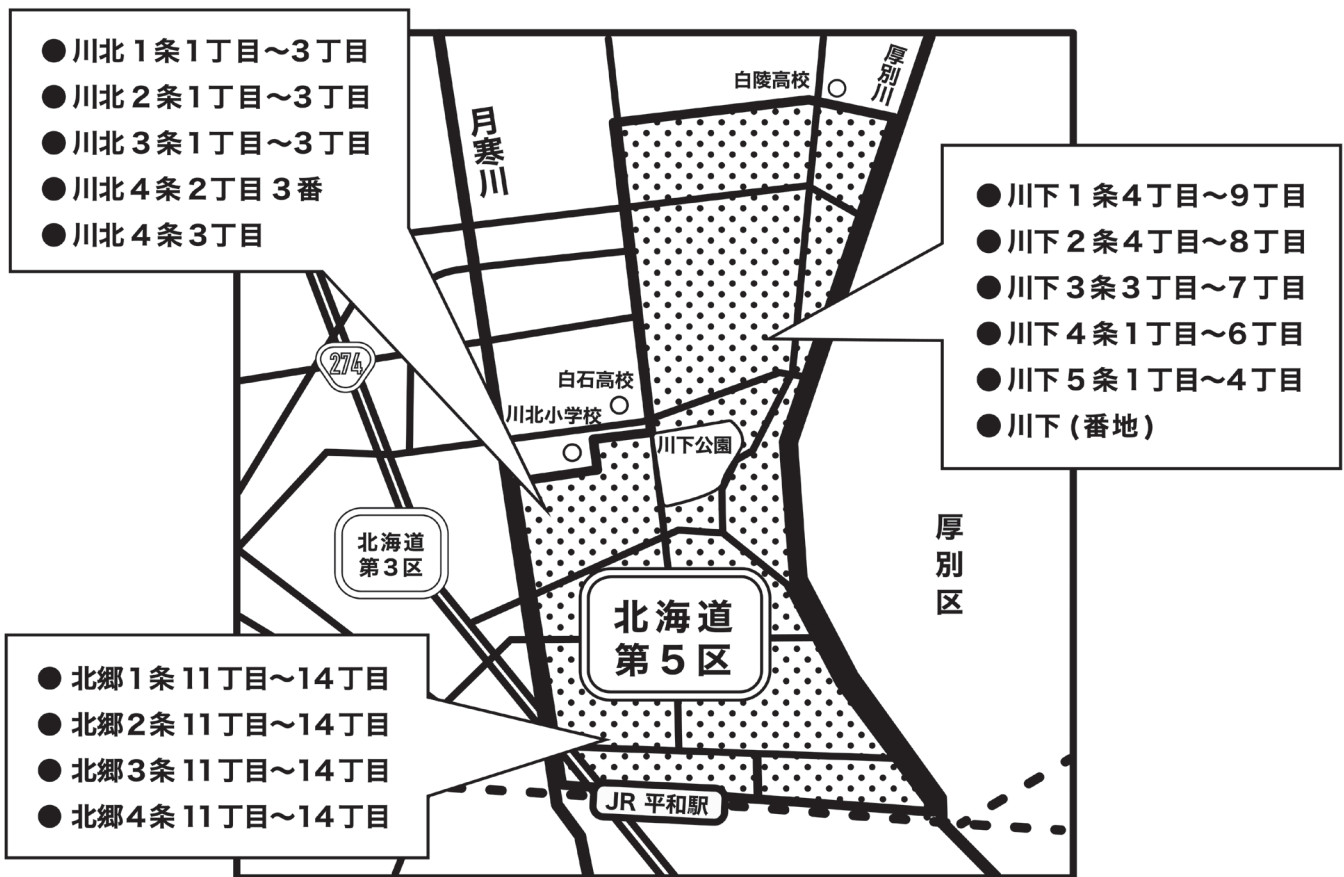
札幌市白石区内の一部の地域で 衆議院小選挙区の選挙区が変わります。

衆議院小選挙区選出議員選挙の選挙区間における一票の格差を是正するため、衆議院小選挙区の区域が見直されました。

これにより今回の衆議院議員総選挙から札幌市白石区内の以下に記載する地域については、北海道第3区から北海道第5区へ衆議院小選挙区の選挙区が変更となります。

※ 札幌市白石区内にお住まいの方で、以下に記載する地域以外にお住まいの方については、これまでの選挙区（北海道第3区）から変更はございません。

衆議院小選挙区の選挙区が変わる地域（札幌市白石区分）



上記の地域の衆議院小選挙区は
北海道第3区 から 北海道第5区 に変わります。